

## 第1回 駅まちデザイン検討会

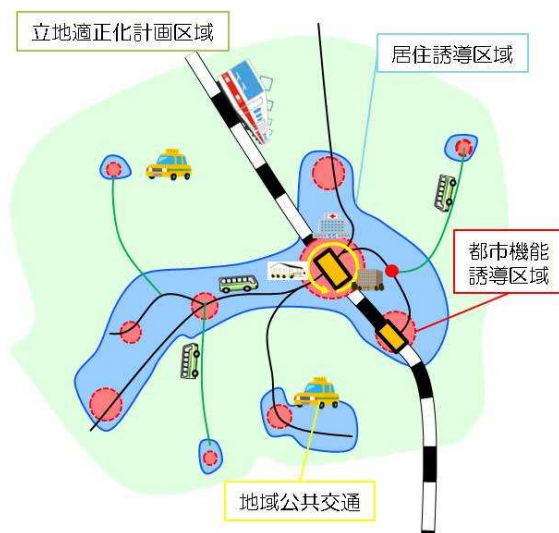
### 本検討会の趣旨

---

国土交通省 都市局  
令和2年9月16日

# 1. 駅まちデザインの背景

- 少子高齢化、人口減少社会に直面する日本の都市の活力の維持・向上を図るため、「コンパクト+ネットワーク」や「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりといった施策が進められている。
- 特に、人々の移動・滞在の拠点となる交通結節点（駅まち空間）は、時代のニーズに沿った機能が求められているが、貴重な駅まち空間が必ずしも効果的に活用されているとは言えない状況も散見されている。
- その要因のひとつは、高度経済成長期に整備された「駅まち空間」の再構築に当たって、整備計画、関係者の役割分担・連携体制、変動幅の大きい整備資金需要への対応等の様々な点で、柔軟な発想に基づく「空間の共有」や「機能の連携」が進められなかったことがあげられる。
- また、年初より世界的に流行している新型感染症は、新しい生活様式を各所で求めており、「駅まち空間」の再構築においても対応が不可欠な状況である。

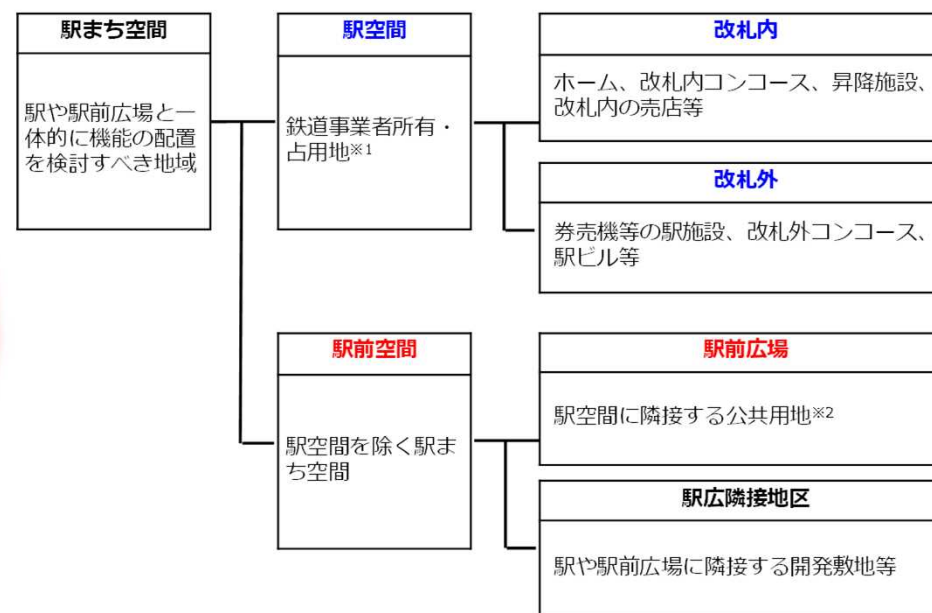
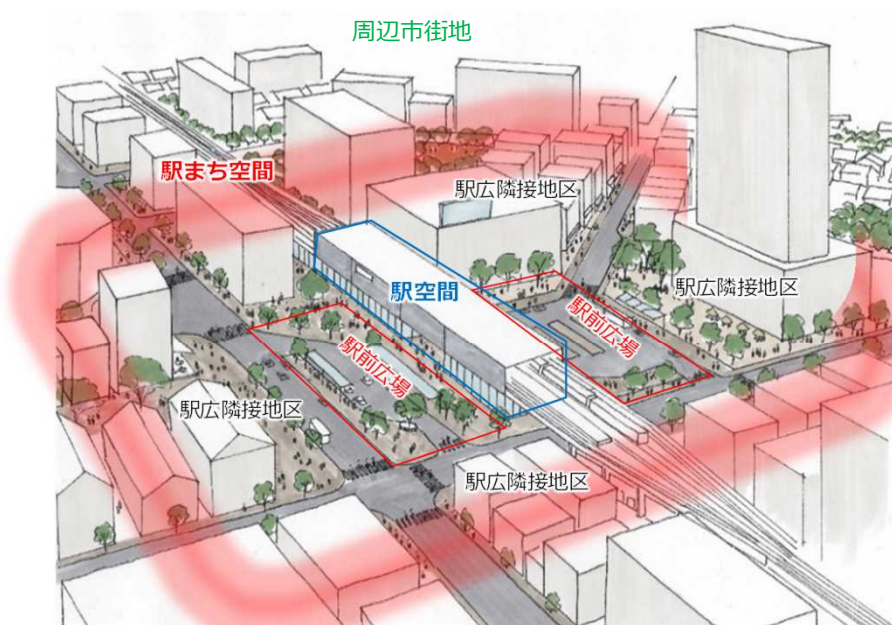


「居心地が良く歩きたくなるまちなか」のイメージ



## 2. 駅まち空間の定義

- 駅や駅前広場と一体的に機能の配置を検討することが期待される地域を「駅まち空間」と定義する。
- 「駅まち空間」の具体的な範囲は、個々の駅や交通結節点の特性により変化するものであり、一律に定めるべきものではないが、「駅まち空間」が内包する空間の要素は以下のとおりである。



※1 協定駅前広場は除く  
 ※2 協定駅前広場内の鉄道事業者所有・占有地を含む

### 3. 本検討会の目的

- 昨年度は、先進的な事例の調査を行い、「空間の共有」や「機能の連携」の観点などから先進事例における取組みを紹介する『駅まち再構築事例集』を作成した。
- 今年度は、事例集に記載された優れた取組みや、駅まち空間が備えるストック効果を踏まえ、駅まち空間を再構築する際に留意すべき事項や関係者の役割分担（制度設計、管理運営等）などについて『駅まちデザインの手引き』としてとりまとめるため、有識者等からなる検討会で議論する。
- また、駅まち再構築の促進に資する新たな制度に係る提言を合わせて議論する予定である。

#### 駅まちデザインの手引き とは

- 構想計画から整備を経て管理運用に至る各段階において、関係者（地方自治体・交通事業者・開発事業者など）が考慮すべき要素や視点を記載したガイドライン
- 合意形成の進め方や、活用可能な支援制度等についてもフォロー

# 4. 「駅まちデザインの手引き」の構成（案）

※具体的な項目や内容については、本検討会におけるご意見を踏まえて設定いたします。

## 序章

- (1) 駅まちデザインの背景 (2) 駅まち空間の定義 (3) 手引きの目的 (4) 手引きの構成

資料1

## 1章 駅まち再構築の必要性と意義

- (1) 駅まち空間が備えるべき機能
- (2) 駅まち空間が抱える課題
- (3) 駅まち再構築の意義
- (4) これからの時代に求められる視点  
〔新型コロナ危機を契機とした対応  
自動運転等の技術革新への対応等〕

## 2章 駅まちデザインの方向性

- (1) 一体的なパブリックスペースの配置
- (2) 「空間の共有」と「機能の連携」
- (3) 周辺市街地との連携
- (4) 課題解決に向けたアプローチ
- (5) 多様な主体との連携

資料6

## 3章 駅まちデザインの進め方

### 3-1 構想・計画段階 ～将来の目指すべき方向性の検討と共有に向けて～

- (1) 地域の課題やニーズの見える化・共有
- (2) 駅まち空間が備えるべき機能と、その配置や規模の検討
- (3) 駅まち再構築による効果や(負の)影響への対応
- (4) 駅まち空間が目指すべき将来像や、将来像を実現するためのまちづくり方針等の作成と共有

### 3-2 事業化・整備段階 ～事業や取組みの推進に向けて～

- (1) 事業スキームや役割分担の検討
- (2) 都市計画等への位置づけ

### 3-3 管理・運営段階 ～駅まち空間の価値の維持・向上に向けて～

- (1) 一体的な管理運営に向けた仕組みの検討(エリアマネジメント組織など)
- (2) 社会環境の変化に柔軟に対応していくための取組みの検討  
(モニタリング・評価・必要に応じた空間や機能の見直しなど)

## 4章 体制

- (1) 勉強会、懇談会
- (2) 検討会、協議会
- (3) 分科会、個別協議
- (4) 地域参画、パブリックコメント
- (5) エリアマネジメント組織 など

## 5章 制度

- (1) 構想・計画段階の関連制度
- (2) 事業化・整備段階の関連制度
- (3) 管理・運営段階の関連制度 など

## 6章 今後の課題

- (1) ポストコロナにおける対応
- (2) 今後の展開 など

## 5. 検討会の進め方

※青字で示す資料および議事要旨は国土交通省のホームページにおいて公開を予定

第1回	(9月16日)	<ul style="list-style-type: none"><li>趣旨説明</li><li>委員からの発表(岸井委員、森本委員)</li><li>テーマ別検討<ol style="list-style-type: none"><li>駅まち再構築の必要性と意義について</li><li>駅まちデザインの方向性について</li></ol></li></ul>
第2回	(10月中旬)	<ul style="list-style-type: none"><li>委員からの発表(村山委員、三浦委員)</li><li>テーマ別検討<ol style="list-style-type: none"><li>駅まちデザインの進め方について</li><li>求められる仕組み(体制・制度など)について</li></ol></li></ul>
第3回	(12月下旬)	<ul style="list-style-type: none"><li>テーマ別検討 (※第1回・第2回を踏まえたテーマ設定)</li><li>駅まちデザインの手引き[骨子]の審議</li></ul>
第4回	(2月下旬)	<ul style="list-style-type: none"><li>駅まちデザインの手引き[素案]の審議</li></ul>



意見がまとまり次第、『駅まちデザインの手引き』として、  
検討会名で公表